

### 3 単元の評価規準及び学習活動に即した評価規準

	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
単 元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 剣道の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>○ 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</li> <li>○ 自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>○ 互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>○ 健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己の技能・体力の程度に応じた得意技を見付けている。</li> <li>○ 提供された攻防の仕方から、自己に適した攻防の仕方を選んでいる。</li> <li>○ 仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>○ 健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>○ 剣道を継続して楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防を展開するための相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技、得意技のいずれかができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 剣道の伝統的な考え方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>○ 技の名称や見取り稽古の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>○ 武道に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>○ 運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>○ 試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>
学 習 活 動 に 即 し た 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 剣道の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>② 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</li> <li>③ 互いに助け合って学び合おうとしている。</li> <li>④ 健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 相手の構えを崩すために有効な方法を選んでいる。</li> <li>② 相手の動きに応じた技を考えたり、見付けていたりしている。</li> <li>③ 自己の技能・体力の程度に応じた得意技を見付けている。</li> <li>④ 仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 基本動作ができる。 ・小手、面、胴を打ったり受けたりすること。</li> <li>② 相手の動きに応じた基本となる技ができる。 ・相手が面や小手を打ってきた場合の応じ技（例 面抜き胴、小手抜き面、小手すり上げ面など）</li> <li>③ 既習技の中から、得意技を見付け、定着させ、相手との攻防に生かすことができる。</li> <li>④ 相手の構えを崩し、相手の技に対して応じ技を繰り出すなどの攻防ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 剣道の伝統的な考え方や特性について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>② 技の名称や行い方について、学習した具体例を挙げて説明している。</li> <li>③ 剣道に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>④ 試合の行い方や決まり（ルール）を理解している。</li> </ul>

4 単元の指導計画と評価計画

時間	ねらい	学習活動	学習活動に即した評価活動			
			関・意・態	思考・判断	技能	知識・理解
1	○ 学習計画を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 剣道に必要な体力要素を調べ、ウォーミングアップで行う運動を決定</li> <li>・ 剣道の授業でよく起こるけがと安全対策の確認</li> <li>・ 学習の進め方の確認</li> <li>・ 剣道に関連した動きを取り入れた体ほぐしの運動</li> </ul>	①④ (ワークシート)			①③ (ワークシート)
2	○ 昨年度学習したことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統的な行動の仕方や礼法の確認</li> <li>・ 基本動作の確認</li> </ul>	①② (観察)			
3	○ 本年度の学習課題を明確にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有段者の試合を見学</li> <li>・ 学習課題を明確にし、どのように練習をしていくのか確認 <b>(簡易竹刀との出会い)</b></li> </ul>	① (観察)	<b>(学習課題) 得意技を身に付けて、相手の動きの変化に応じた攻防を楽しもう。 (簡易竹刀を用いて)</b>		
4 5 6	○ しかけ技を身に付け、相手との攻防を楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本動作や既習のしかけ技の練習</li> <li>・ 相手の構えを崩して攻撃する練習</li> <li>・ 技のできばえの判定試合</li> <li>・ 攻防交代型の試合</li> </ul>	③④ (観察)	①③④ (観察・ワークシート)	① (観察)	② (ワークシート)
7 8 9 10	○ 応じ技を身に付け、相手との攻防を楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応じ技の練習</li> <li>・ 応じ技の判定試合</li> <li>① 相手が面を打ってきた場合</li> <li>② 相手が小手を打ってきた場合</li> <li>・ 攻防一体型の試合</li> <li>③ <b>「しかけ技(面)」対「応じ技」(本時)</b></li> <li>④ 「しかけ技(面・小手)」対「応じ技」</li> </ul>	③④ (観察)	②③④ (観察・ワークシート)	② (観察)	② (ワークシート)
11 12 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仲間と協力して、技の完成度を高める。</li> <li>○ 相手との攻防を楽しむ。</li> <li>○ 学習のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四人一組の団体戦(男女2名ずつ)</li> </ul>	②③ (観察)	③ (観察・ワークシート)	③④ (観察)	④ (観察・ワークシート)

5 本時の指導（9／13）

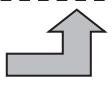
(1) 目標

- 攻防一体型の試合の中で、面を打ってくる相手に対し、応じ技ができる。（技能）
- 面に対する応じ技の中から、自分に合った技を見付けることができる。（思考・判断）

(2) 準備

剣道具一式、簡易竹刀、学習カード、タブレット、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード

(3) 展開

時間	学 習 活 動	・指導上の留意点 ◎評価
導入 15分	<p>1 集合、整列、挨拶、健康観察をする。</p> <p>2 準備運動と基本動作の確認をする。 ・足さばき ・素振り ・連続面打ち</p> <p>3 本時のめあてを知る。 (めあて) 実戦の中で、自分に合った技を見つけよう。 ～面に対する応じ技～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 垂れと胴を装着して集合整列させる。</li> <li>・ 礼法を丁寧に行わせる。</li> <li>・ 声を出しながら、体全体を動かし、心と体両方の準備ができるようにする。</li> <li>・ 生徒の着装や剣道具の確認をし、安全に配慮する。</li> <li>・ 本時のめあてを知り、学習の見通しがもてるようにする。</li> </ul>
展開 30分	<p>4 面に対する応じ技の中から、試合で使いたい技について話し合い、練習する。 (グループ学習)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(各試合会場)</p> <p>白組 ○ × ● 赤組</p> <p>○○○ ●●●</p> <p>(応援と採点) (応援と採点)</p> <p>※ 立って応援し、試合が終わったら座って相談しながら得点をつける。</p> </div> <p>5 攻防一体型の試合をする。 </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四人一組（2チームは三人一組）で団体戦を行う。</li> <li>・ 白組から、30秒間に3回面をねらって打つ。赤組は、それに応じて技を出す。終わったら役割を交代する。</li> <li>・ 判定基準を確認しながら、グループで相談して得点を付ける。</li> <li>・ 試合が終わったら、対戦相手と共に試合を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT機器を活用し、これまでに考えた技や学習した技を確認させる。</li> <li>・ 事前に、試合で使いたい技を考えさせておき、話し合いや練習がスムーズに進むようにしておく。</li> <li>・ 話し合いの終わったグループから、適宜面を付けて練習させる。</li> <li>・ グループごとに場所を決めて、安全に練習できるようにする。</li> <li>・ 様々な面打ちに対応できるように、グループのメンバー全員と繰り返し練習できる場を設定する。</li> </ul> <p>◎ 自分に合った技を見つけ、練習することができたか。 (思考・判断③)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応援のマナーについて確認しておく。</li> <li>・ 得点表を見ながら、判定基準を確認する。</li> <li>・ 相談中は、足を崩して座ってもよいことを伝える。</li> <li>・ グループや対戦チームとの話し合いの中で、よかったところや改善したらよいところを、積極的に話し合わせる。</li> </ul> <p>◎ 攻防一体型の試合の中で、面を打ってくる相手に対して、応じ技ができたか。（技能②）</p>
まとめ 5分	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>7 整列、健康観察、挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 真剣な攻防を経験しての素直な感想を引き出す。</li> <li>・ 友達の取組のよかった点についても発表させる。</li> <li>・ 学習カードを用いて自己評価をさせる。</li> <li>・ 次時の内容について伝え、見通しをもたせる。</li> </ul>

研究の視点

- 簡易竹刀の使用が、自分に合った応じ技を選んだり行ったりする活動の活性化につながったか。  
【授業実践力】【教材解釈力】
- グループで協力し、技を身に付けるための支援や声掛けができ、楽しく安全に活動することができたか。  
【生徒理解力】

# 剣道 学習の記録

3年 氏名

\*各項目 A/B/Cで記入 ※⑤⑥⑦は時間ごとの項目

時 月日	目 標	① 挨拶・礼	② 協力	③ 安全	④ 主体的	⑤	⑥	⑦	感想・気付き
1	○学習の流れをつかもう								
2	○礼儀作法と基本の動きを確認しよう								
3	○今年の学習課題を明確にしよう								
4	○しかけ技を考えよう								
5	○相手の構えを崩して攻撃しよう								
6	○相手の構えを崩して攻撃しよう								
7	○応じ技を考えよう I								
8	○応じ技を考えよう II								
9	○応じ技を考えよう III								
10	○応じ技を考えよう IV								
11	○試合形式で自分の得意技を出してみよう								
12	○試合形式で自分の得意技を出してみよう								
13	○相手との攻防を楽しもう								

～剣道の学習を終えて～

剣道 学習記録 自己評価

<b>1</b>	10月6日	本時の目標	学習の流れをつかもう
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	剣道の学習の流れを理解できたか		
⑥	剣道で身に付く体力や起こりやすいけがが分かったか		
⑦	どのような準備運動をしたらよいか考えることができたか		

<b>2</b>	10月7日	本時の目標	礼儀作法と基本の動きを確認しよう
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	足さばきや素振りの仕方を思い出せたか		
⑥	基本の打ち方（面や小手）を思い出せたか		
⑦	みんなで元気よくウォーミングアップができたか		

<b>3</b>	10月12日	本時の目標	今年の学習課題を明確にしよう
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	みんなで元気よくウォーミングアップができたか		
⑥	試合を見て感じたことを、発表したり書いたりできたか		
⑦	今年の剣道学習の学習課題が分かったか		

<b>4</b>	10月13日	本時の目標	しかけ技を考えよう。
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	小手・面・胴を打ったり受たりできたか		
⑥	相手の構えを崩すための方法を進んで考えたか		
⑦	仲間と協力してしかけ技を考えたか		

<b>5</b>	10月14日	本時の目標	相手の構えを崩して攻撃しよう。
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	小手・面・胴を打ったり受たりできたか		
⑥	相手の構えを崩すための方法を進んで考えたか		
⑦	仲間と協力してしかけ技を考えたか		

<b>6</b>	10月18日	本時の目標	相手の構えを崩して攻撃しよう
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	小手・面・胴を打ったり受たりできたか		
⑥	相手の構えを崩すための方法を進んで考えたか		
⑦	仲間と協力してしかけ技を考えたか		

<b>7</b>	10月25日	本時の目標	応じ技を考えよう I
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		

⑤	相手が面を打ってきた時の応じ技を考えることができたか
⑥	相手が面を打ってきた時の応じ技の練習ができたか
⑦	仲間と協力して応じ技を考えたか

<b>8</b>	10月27日	本時の目標	応じ技を考えようⅡ
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	相手が小手を打ってきた時の応じ技を考えることができたか		
⑥	相手が小手を打ってきた時の応じ技の練習ができたか		
⑦	仲間と協力して応じ技を考えたか		

<b>9</b>	11月9日	本時の目標	応じ技を考えようⅢ
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	試合を想定して、面に対する応じ技の練習ができたか		
⑥	自分に合った応じ技を見つけることができたか		
⑦	友達のアドバイスを聞いて、自分の技を高めることができたか		

<b>10</b>	11月14日	本時の目標	応じ技を考えようⅣ
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	相手が面や小手を打ってきた時の応じ技を考えることができたか		
⑥	相手が面や小手を打ってきた時の応じ技の練習ができたか		
⑦	仲間と協力して応じ技を考えたか		

<b>11</b>	11月21日	本時の目標	試合形式で自分の得意技を出してみよう
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	自分の得意技を出そうと挑戦することができたか		
⑥	試合のルールを守って行うことができたか		
⑦	仲間と協力して試合をすることができたか		

<b>12</b>	11月24日	本時の目標	試合形式で自分の得意技を出してみよう
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	自分の得意技を出すことができたか		
⑥	試合のルールを守って行うことができたか		
⑦	仲間と協力して試合をすることができたか		

<b>13</b>	12月5日	本時の目標	相手との攻防を楽しもう
①	あいさつ・礼法がしっかりできたか		
②	相手を尊重し、協力して活動できたか		
③	安全に気を配り、活動できたか		
④	進んで学習に取り組むことができたか		
⑤	自分の得意技を出すことができたか		
⑥	試合のルールを守って行うことができたか		
⑦	仲間と協力して試合をすることができたか		

## 【授業の様子】

### 活動 1

- ・健康観察
- ・挨拶
- ・準備運動と基本動作

- ・素振り
- ・連続面打ち

ランニングから足さばき



準備運動



声をしっかりと出して素振り



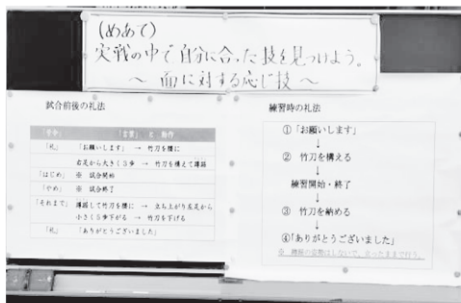
連続面打ちは大きな声で



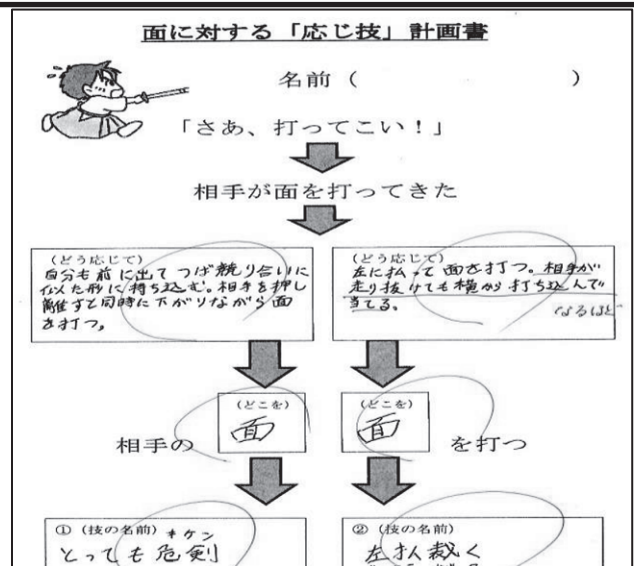
- ・ランニングでは、足さばきを取り入れて、体全体を動かし、心と体の両方の準備ができるように行った。
- ・前後素振り、跳躍素振りでは元気よく、大きく振りかぶって行った。また、グループで面の連続打ちを気迫ある声と強い打ちを意識させて行った。

### 活動 2

- ・めあての確認



### 自分に合った技を見つけよう～面に対する応じ技～



- ・前時までの確認を行い、これまでに考えた技や学習した技を確認した。
- ・面に対する応じ技の中から、試合で使いたい技について話し合い、終わったグループから素早く面をつけて練習を行った。